

(学校用)

様式 A-1

平成 25 年 7 月 24 日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 名古屋市立名東高校 有元真琴、嶽純平
2. 講師氏名: Sebastian HALDER
3. 同行者氏名: \_\_\_\_\_
4. 実施日時: 平成 25 年 7 月 6 日 (月) 10:35~11:21
5. 参加生徒: 2年生 80人、 \_\_\_年生 \_\_\_人、 \_\_\_年生 \_\_\_人 (合計 \_\_\_人)  
備考: (例:理数科の生徒)
6. 講演題目: (英文)  
(和文)特になし
7. 講演概要:  
ドイツについて  
ドイツと日本の比較  
研究内容について(脳波を利用したコミュニケーションマシンインターフェイスについて)
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
  - (1) 講演時間 45分 質疑応答時間 1分
  - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用、デモンストレーション
  - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
なし。一部解説
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
なし
10. 学校からの支給経費(該当がある場合):  交通費  宿泊費  謝金
11. その他特筆すべき事項: